

雨風に打ち拉ひがれて撓たゆむなく尚も綾なす蔦錦かも

陳郁美 ちんいくび 台北市(主婦)

身ごもれる娘に逢ひたきもままならず冷たき夫に愚痴をなげかく

陳伝盛 ちんでんせい 高雄市(商社マン)

「寿山」の影を落せる「愛の河」名はよけれども汚染を嘆く

陳福 ちんふく 台北市(閑居)

若き日は巢を忘れたる渡り鳥今は巢守りの妻を恋ふ鳥

陳綦綦 ちんしんしん

幼な子に席を占めさせ平然と混み合ふバスに坐るは誰が妻

豊地正枝 とよじまさえ 帰国中(交換教授)

血に染まり鮭はしぶきをあげて跳ねせせらぐ河に三度逆落つ

黄平堅 こうへいけん 台北市(閑居)

妻と子をアメリカにやり留守われは雲を伴とし独身貴族

黄智恵 こうちえ 台北市(研究員)

象牙の塔こもりて我はオールドミス「バスデー果して目出たいかしら？」

黄瑞珠 こうずいしゆ 台南市(教員)

杉木立昼尚暗き山の中「溪頭」の径友と歩みし

彭蘊璠 ほううんはん 新竹県(閑居)